

入場料金のご案内

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	400円	300円	160円	無料
団体(20名以上)	320円	240円	120円	
年間パスポート	800円	600円	320円	

- モノレールのフリー乗車券(1日券・2日券)を券売所窓口にてご提示いただくと、団体料金が適用されます。
- 学校行事の場合は、20名未満でも団体料金の適用が可能です。(要事前申込)
- 心身に障がいのある方、および付き添い者1名は無料で入場できます。券売所窓口、身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をご提示ください。

営業時間のご案内

	4月~6月/10月~11月	7月~9月	12月~3月
有料区域	8:30~19:00	8:30~20:00	8:30~18:00
入場券販売締切	18:30	19:30	17:30
無料区域・駐車場	8:00~19:30	8:00~20:30	8:00~18:30

- 城壁等のライトアップを日没からご覧いただけます。

イベント情報



最新情報はこちら



御開門
(うけーじょー)
開門を告げる朝の儀式
🕒毎日8:25~📍奉神門
※休場日および荒天時は中止となります。



東のアザナ 時報解説・体験会
🕒11:55~(10分程度)
📍首里城公園 東のアザナ(有料エリア)
参加費: 無料 (※東のアザナへは当日有効な入場券が必要です。年パス可)
※雨天時は中止となります。



**首里城60分
ぐるっとガイドツアー**
解説員が復興の進む有料区域を含めた公園内を60分でご案内するツアーです。
🕒 毎日8:15~9:15~/16:00~
※当日空きがあればご予約なしでも受付できます。
📍 首里杜館 B1F 総合案内所付近
参加費: 1,000円/人(中学生以上)

交通のご案内

1.モノレール(ゆいレール)

モノレール(ゆいレール)の場合、首里駅または儀保駅にて下車。徒歩約15分で守礼門に到着。

2.観光バス・乗用車・タクシー

那覇空港から約10km 所要時間約40~50分。
首里杜館(すいむいかん) 地下に駐車場があります。

3.路線バス

- ▶市内線**①⑭⑰**番・市外線**④⑥**番に乗りし、「首里城公園入口」のバス停にて下車、徒歩約5分で守礼門に到着。
- ▶首里城下町線の**⑦⑧**番に乗りし、「首里城前」にて下車。徒歩1分で守礼門前に到着。
- ▶市内線の**⑨⑬**番・市外線**②⑤⑦⑮**番に乗りし、「山川バス停」にて下車、徒歩15分で守礼門に到着。

▶首里杜館駐車場ご利用料金

小型車	最初の60分 400円 以降30分ごと 200円 最大料金 800円
大型バス	30分あたり 600円 最大料金 2,400円

※マイクロバス・大型バスはホームページからの予約が必要です。

GPSマップ



首里城へのアクセス



お問い合わせ

首里城公園管理センター

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地
TEL.098-886-2020(代) FAX.098-886-2022

<https://oki-park.jp/shurijo/>



アンケートにご協力ください
24.01.230.000

首里城公園

SHURIJO CASTLE PARK

琉球王国の
栄華を物語る
世界遺産



首里城茶屋
伝統的な琉球菓子をお楽しみいただけます。
🕒9:30 ~ 17:30
(ラストオーダー 17:00)
※一人様 800円(税込)

茶図座・用物座
「茶図座」は、士族の家系図を管理していた役所。「用物座」は、城内で使用する物品、食料などを管理していた役所です。現在は休憩所として使用しているほか、有料の琉球菓子セットをご提供しています。

女官居室(有料区域)
城人(くさくちぬ)と呼ばれる、住み込みをしながら国王の身の回りの世話などの職務を行った女官たちの居室です。この建物がある御内原は、国王やその家族、首里城に勤める女性たちの空間でした。
ミュージアムショップ球陽
商品や、お土産を販売しております。🕒 開場時間と同じ

琉球銘菓
詰め合わせ玉石箱 首里城オリジナル
御城印
ホケッ卜御城印帳

シヨツパ模型
首里城のオリジナルグッズや、お土産を販売しています。
🕒9:00 ~ 18:00

SUICOCO
首里城限定のお菓子やドリンクなどをお楽しみください。
🕒8:00 ~ 18:00

カフエ龍橋
コーヒー、アイスなど、軽食を気軽に楽しめます。
🕒9:00 ~ 17:00

レストラン首里杜
琉球料理をお楽しみいただけます。
(ラストオーダー 16:30)
🕒11:00 ~ 17:00

首里城定食
琉球料理をお楽しみいただけます。
🕒11:00 ~ 17:00

ガイダンスホール
フロアビデオ映像等で首里城について学べます。
🕒11:00 ~ 17:00

首里杜館
総合案内所やレストラン、カフェ、シヨツパなど、首里城見学の拠点となる施設です。ぜひ見学前と見学後にお立ち寄りください。

国	日	本	琉球	明	清	中華民国	中華人民共和国	平成	令和
1372	中山王黎度、初めて明に使者を送る								
1406	尚恩紹(尚巴志の父)中山王になる								
1427	龍潭を掘り、庭園を整備した								
1429	尚巴志、三山を統一。琉球王国が成立								
1470	尚円、王位につく。瑞泉門を創建								
1508	正殿に青石の石「高欄、大龍柱」設置								
1519	國比屋武御嶽石門を創建								
1609	島津の琉球侵入								
1621~27	この頃南殿、創建								
1709	首里城焼失								
1768	正殿の大修理が行われる								
1872	琉球藩設置								
1879	首里城明け渡し。琉球王国の崩壊								
1925	首里城正殿、国宝に指定される								
1945	沖縄戦により首里城焼失								
1957	國比屋武御嶽石門を復元								
1958	守礼門復元								
1972	日本土復帰								
1989	首里城正殿、復元工事に着手								
1992	首里城公園の一部開園								
2000	北庭にて「九州・沖縄サミット」社交夕食会開催								
2009	書院・鍾之間庭園、国の名勝に指定される								
2019	首里城火災								
2020	首里城再建に向けて始動								

戦前の首里城正殿

首里城は14世紀頃に創建されたといわれ、中国や日本の文化も混合する琉球独特の城で、琉球王国最大の木造建築物でした。首里城は国王とその家族が居住する「王宮」であると同時に、王国統治の行政機関「首里王府」の本部でもあり、さらに各地に配置された神女たちを通じて、王国祭祀を運営する宗教上のネットワークの拠点でもありました。1879年沖縄県となった後は、日本軍の駐屯地、各種の学校等として使われました。1945年の沖縄戦で焼失し、戦後は琉球大学キャンパスとなりましたが、大学移転後に復元事業が推進され1992年に首里城公園として開園しました。復元された首里城は、18世紀以降をモデルとしています。

再建中の「今」ならではの
首里城を間近でご覧ください。

2019年10月31日の火災で、正殿を含む9つの施設が焼損しました。

現在は、国内外の多くの皆さまからのご支援をいただき、

「見せる復興」をテーマに一步步づつ着実に復興への歩みを進めています。

復元工事は正殿から着手しており、建築中に雨風や埃から守る「素屋根」が解体され、約6年ぶりに首里城正殿が沖縄の青空の下に姿を表しました。

引き続き令和8年秋の完成に向けて、正殿内部や両廊下、

仮設階段棟などの施工を行ってまいります。

案内所

救護室

駐輪場

飲食店

トイレ

AED
(自動体外式除細動器)

エスカレーター

売店

授乳室

貸出センター
(車イス・杖・ベビーカー)

エレベーター

コインロッカー

おむつ交換台

駐車場

喫煙所

無料区域

有料区域



① 守礼門 (しゅれいもん)



扁額の「守禮之邦」は「琉球は礼節を重んずる国である」という意味。沖縄戦で破壊され、1958年に復元されました。

② 園比屋武御嶽石門
(そのひやうたきいしもん)



世界遺産
国王が外出する時の安全をこの石門の前で祈願しました。沖縄戦で一部破壊され、1957年に復元。2000年12月に世界遺産に登録されました。

③ 龍樋 (りゅうひ)



龍の口から水が湧き出ていることが名の由来。瑞泉門の手前にあり、応急や賓客の大切な飲料水でした。

④ 広福門 (こうふくもん)



扁額の「広福」とは「福を行き渡らす」という意味。東側は戸籍を管理する「大与座」、西側は寺や神社を管理する「寺社座」がありました。

⑤ 奉神門 (ほうしんもん)



改札所
3つの入口のうち、中央の門は国王など限られた身分の高い人だけが通れました。開門を告げる朝の儀式「御開門」を見ることができます。

⑥ 首里城復興展示室



獅子瓦など火災後の残存物の展示や、首里城復興へのあゆみを映像で紹介しています。展示内容は工事の進捗によって変わります。

⑦ 世誇殿 (よほこりでん)



国王が亡くなると、次期国王の即位の礼が行われた場所。現在は大型モニターで琉球王国の歴史と首里城正殿遺構の魅力などを紹介しています。

⑧ 東(あがり)のアザナ



城郭の東側に築かれた物見台で、首里城公園一帯や那覇の街並みを一望できます。東は日が昇る場所のため方言で「アガリ」と言います。